

基本評価シート

様式

北海道 石狩・江別区域

(北海道石狩振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和4年度（2022年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（野幌地区）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	石狩振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	小原	担当者連絡先	011-204-5824
捕獲実施事業者	シンカン・高橋組JV （認定を受けている）	予算額（※2）	169,545,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	68,729,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和4年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
50頭	0頭	0%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
69万頭※ （個体数指数：東部124、北部113、中部163、南部358）	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
34,118頭（R3）	29,806頭（R3）	77,437頭（R3）

※令和3年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3～15万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	令和5年1月5日～令和5年3月10日(※委託期間)
実施区域	<p>野幌地域（江別市西野幌地域） 〔道立自然公園野幌森林公園、野幌鳥獣保護区（特別保護地区を含む）〕</p> <p>森林公園内に位置しており、敷地内の大半を占めている公有林の針葉樹林で積雪を防ぐことができ、樹皮剥ぎにより餌資源を確保できるためエゾシカが越冬しているほか、森林公園の東側に位置する東野幌は畑地で、農作物を食すことでエゾシカにとって1年を通して過ごしやすい地区となっている。</p> <p>また、近年、当該地区近辺ではエゾシカの増加に伴い、農作物や樹木の食害が多く確認されているほか、森林公園内の生態系の悪化やエゾシカが公道を横断することによる交通事故の発生等、人間の生活環境に悪影響を及ぼしている。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道博物館：希少種等の情報提供や捕獲事業の情報共有を図る。 ・北海道水産林務部：道有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。 ・（地独）北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。
事業の捕獲目標	<p>(0%達成)</p> <p>= (0実績値) / (50目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）で撮影し、データも併せて添付する。）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可。</p>

捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。） <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等記載している。</p> <p>受託者の内部にあっては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築した。</p> <p>捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、関係機関へ周知した。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした。</p> <p>捕獲の有無に関わらず、毎日朝晩の見回りを徹底した。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数：4人 （内訳） 正規雇用者：4人、期間雇用者： 人 日当制： 人</p>

3. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：わな近辺に設置した自動撮影カメラによりエゾシカの目撃はしているものの、わなまで誘引することができず、捕獲に至らなかったが、効果的な捕獲手法として取り組んだスノーシューで踏み固めることでエゾシカの歩きやすい道がわな内部まで続くよう誘導路を生成し、誘導路を利用してエゾシカを捕獲することができるかという検証に関しては、わな内部までの誘引は不完全だったが、一定の区間では成果を上げることができた。</p>
	<p>改善点：誘導路の元になっている部分が今回の事業で判明したため、そこか</p>

	ら誘導して捕獲するのではなく、そこにわなを設置して居着くエゾシカを捕獲、さらにそこから誘導路を設置して誘導されたエゾシカの捕獲をおこなった方が効果的だと感じた。また、目標値の設定が事業中の自動撮影カメラによる目撃頭数と比較して高く設定されていた。
【実施期間】	評価：わな設置当初の1月はわなにより近い部分のカメラで目撃されていたが、2月以降思うように誘引することができなかった。
	改善点：捕獲時期の前倒しをすることによりわな内部までの誘引をすることができる可能性があった。
【実施区域】	評価：一般利用者が多い地域での捕獲だったことや、利用を考慮した土地所有者の意向があったため、わな設置候補地がかなり限定されてしまったため、捕獲予定場所の柔軟性を欠いてしまい、近隣のエゾシカ目撃頭数が多かった自動撮影カメラの部分へわなを移動することができなかった。わな設置場所はアクセスが良く、一般者は車両通行止め区間であるため、わな設置場所として適地のように思えたが、スノーシューを使ってわなや誘導路へ近づく一般利用者が多いことや、エゾシカにとって見通しが良すぎる場所であったせいかわな内部まであと1歩のところまで引き返すことがあった。
	改善点：わな設置場所に柔軟性を持てるよう、事前調整期間を事業内で設けられるように捕獲事業の前倒しが必要。
【捕獲手法】	評価：一般利用者が多い場所であることから、囲いわなによる捕獲は適切だった。土地所有者からも安全な捕獲を念押しされていたため、要望に対して応えることのできた猟法だった。
	改善点：囲いわなの規模が目撃と比較すると大きかったため、機動性を欠いた。はこわなによる捕獲も視野に入れる。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：荒天以外はほぼ毎日朝晩の見回りを行っており、現地対応は素晴らしかった。
	改善点：コンソーシアムだったため、書類作成で連携不足を感じた。
【個体処分】	評価：
	改善点：
【環境配慮】	評価：一般利用者に対して説明も随時行っていた。
	改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。
【安全管理】	評価：一般利用者への周知、注意看板設置、見回り強化、及びわな設置前の事前打ち合わせ等安全管理体制を確保した。
	改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。
3. その他の事項に関する評価及び改善点	

捕獲実施後に行った自動撮影カメラによる生息状況調査では、1枚における最大頭数は8頭のエゾシカが目撃された。本来わなを設置したかった部分では、目標頭数である50頭以上の目撃があるものの、今回わなを設置した部分までその個体群を誘引するまでには至らなかった。また、同地区における捕獲でも細かな場所の違いにより、目撃頭数が異なった結果となった。また、酪農学園大学の教授からの情報提供で、1年を通して野幌森林公園近辺で生息している個体がいることがわかっており、今後該当地で捕獲を行わなかった場合、エゾシカ個体数の増加に伴い、生態系の悪化や、交通事故や隣農家の農業被害増加が懸念される。一般利用者が誘導路をバードウォッチで使用する等現地で立会した利用者へは近寄らないよう周知しているものの、周知だけでは限界を感じる部分があり、夜間の捕獲に限定されてしまう。

4. 全体評価

捕獲に至らなかったが、効果的な捕獲手法として取り組んだスノーシューで踏み固めることでエゾシカの歩きやすい道がわな内部まで続くよう誘導路を生成し、誘導路を利用してエゾシカを捕獲することができるかという検証に関しては、わな内部までの誘引は不完全だったが、一定の区間では成果を上げることができたため、捕獲手法としては確立できる可能性を秘めている。しかし、実際に捕獲に至らなかったことや、積雪する度に踏み固めを行わなければならないため、労力負担が大きい。

捕獲の区域や期間については、期間を前倒しすることにより改善をする必要がある。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

市町村による許可捕獲（有害駆除）等が実施されていない箇所でも集中的に実施したことにより、生物多様性への影響の軽減、周辺地域の農林業被害及び市街地への出没を軽減させるほか、エゾシカの逃避地を作らせないことによる地域全体の捕獲効率向上を期待している。

今後は、自動撮影カメラによるモニタリングにより効果的かつ効率的なエゾシカ対策の推進を検討していく予定。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと	
	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ	
	<input type="checkbox"/> 1kmメッシュ	
	<input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度）	

	<input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	_____ 人日	_____ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 103 人日

事前調査人日数概数※2： 13 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 0 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	50 基日	基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	0頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input type="checkbox"/> くくりわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	0頭	50基日	0頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

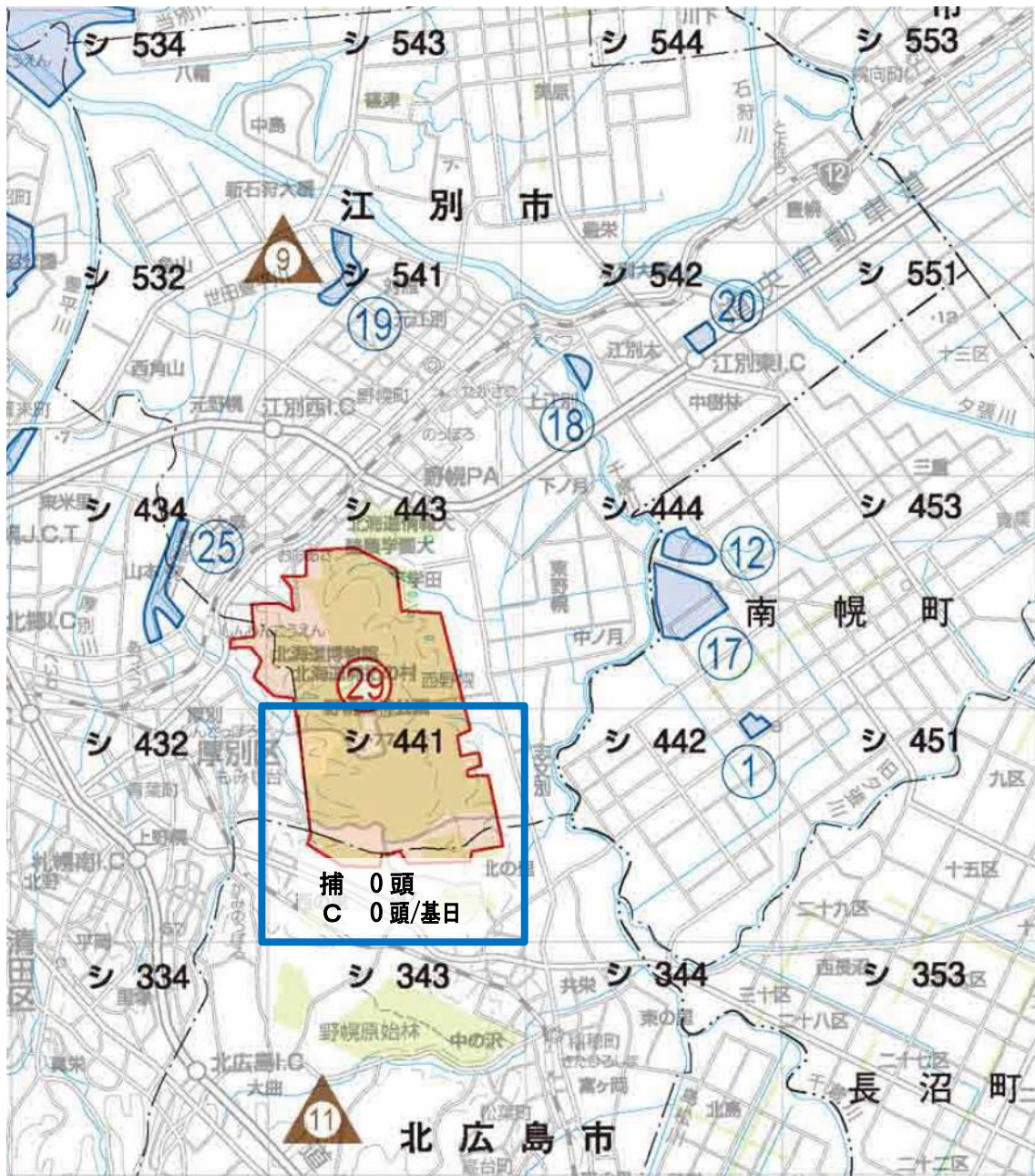
処理にかかる人工概数：_____人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：_____個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

基本評価シート4（1）イ）に付随する概況図
（石狩・江別区域）



北海道「令和4年度（2022年度）鳥獣保護区等位置図」より

【メッシュ番号】

シ441：わな猟（囲いわな）

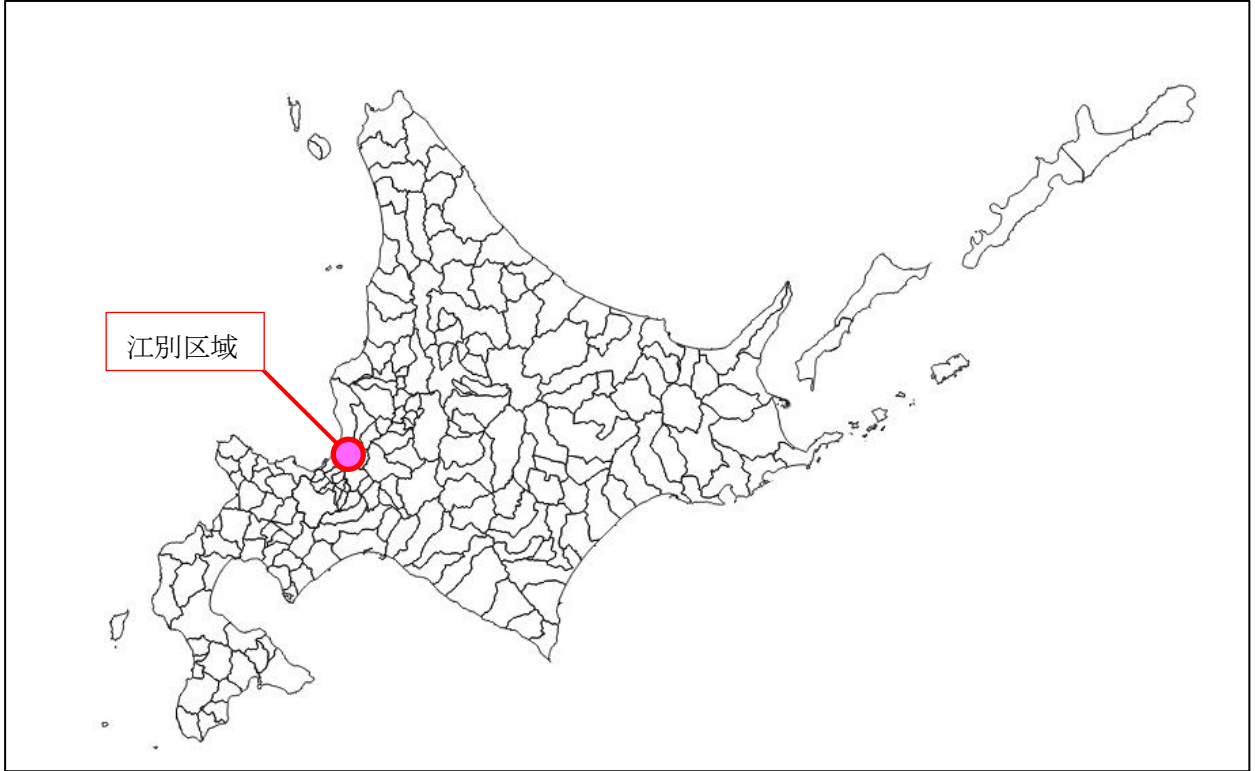
（凡例）

捕：捕獲数

C：CPUE

北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画【石狩・江別区域】

【位置図】



【区域図】

